

平成30年度 ふれ愛フェスティバル開催要項

1 趣 旨

少子高齢社会の進展や家族形態の多様化に加え、地域福祉を取り巻く経済情勢や雇用情勢の変化などによって、家族や社会の支え合い機能が希薄化し、地域における孤独や孤立、虐待などといった社会的な貧困も深刻化してきております。

このような中、地域住民や地域の多様な団体等が主体的に参画しネットワークを構築し、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合える「地域共生社会」の実現が求められています。

本大会は、こうした情勢を踏まえながら、当地域において「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を共に考え、地域住民、ボランティア、市民活動団体、社会福祉施設等が協同で開催することにより、一人でも多くの住民が地域福祉に関心を持ち、理解を深め、地域の支え合いを推進する契機として開催するものです。また、これまで多年にわたり当地域において社会福祉の発展に功労のあった方々を表彰し、一層のご活躍を期待しつつ社会福祉の更なる充実をめざす機会とするものです。

2 大会テーマ

つなげよう心 広げようささえあい

3 日時及び会場

・日 時 平成30年10月 7日（日）

（1）福祉まつり 10時00分 ～ 14時00分

（2）社会福祉大会 12時20分 ～ 15時45分

・会 場 村上市民ふれあいセンター

4 内 容

（1）福祉まつり ① 飲食ブース 縁日ブース、各種コーナー

② 10周年企画

（2）社会福祉大会 アトラクション、式典、記念講演

5 主 催

ふれ愛フェスティバル実行委員会

(実行委員会構成団体)

村上市社会福祉協議会 関川村社会福祉協議会 粟島浦村社会福祉協議会 村上市 関川村
 粟島浦村 村上市民生委員児童委員協議会連合会 関川村民生委員児童委員協議会
 粟島浦村民生委員児童委員協議会 村上地域老人クラブ連合会 村上市身体障害者団体連合会
 村上市ボランティア連絡協議会

6 参加協力団体

地域活動支援センターぬくもり工房 社会福祉法人村上岩船福祉会（浦田の里・みどりの家・
 いわくすの里） 社会福祉法人阿賀北福祉会やまやの里 村上市精神障害者地域活動支援セン
 ターやまびこの家 社会福祉法人青空会すずかけ 関川村地域活動支援センターさくら工房
 有限会社公衛社グループホームふるさと 介護予防塾ゆうとぴあ「むらかみ」アロマハンドト
 リートメント KANAKO 村上おもちゃの病院 NPO 法人希楽々 パン工房マリラ ハンバー
 ガーショップ角 新潟ゆうき株式会社 ゆりの会企業組合 一般社団法人いわふね青年会議所
 荒川手話サークルシェル 村上市地域包括支援センター 村上市福祉課 村上市職員組合現業
 部 村上支部老人クラブ連合会 村上市ボランティア連絡協議会 村上地区民生委員児童委員
 連絡協議会 神林地区赤十字奉仕団 村上市共同募金委員会 日赤村上市地区

7 参加者

- (1) 社会福祉団体及び社会福祉施設等の関係者
- (2) 民生委員児童委員
- (3) ボランティア、地域住民等の関係者
- (4) 社会福祉等の行政職員
- (5) その他社会福祉に関心を有する住民

8 日 程

(1) 福祉まつり

10:00	11:45	13:30	14:00
10:30	12:00	13:45	
飲食ブース 縁日ブース、各種コーナー			終了
10周年企画特設ステージ	祝 い餅まき	祝 い餅まき	終了

(2) 社会福祉大会

11:45	12:50	14:20	15:45
12:20	13:00	14:30	
受付	オープニング アトラクション	ステージ 準備	第1部 式典
		休憩	第2部 記念講演
			終了

平成 30 年度 村上地域社会福祉大会 次第

○ オープニングアトラクション

獅子踊り

坂町獅子踊り実行委員会 様

第 1 部 式 典

- | | | | |
|-----------|---|--|------------------|
| (1) 開会宣言 | 村上地域社会福祉大会実行委員会副会長
村上地域老人クラブ連合会長 | 川 崎 悌 吉 | |
| (2) 開会の挨拶 | 村上地域社会福祉大会実行委員会長
村上市社会福祉協議会長 | 佐 藤 芳 男 | |
| (3) 表 彰 | 村上地域社会福祉大会実行委員会長表彰
村上地域老人クラブ連合会長表彰
村上市身体障害者団体連合会長表彰 | | |
| (4) 来賓祝辞 | 村上市長
関川村長
新潟県議会議員
村上市議会議長 | 高 橋 邦 芳
加 藤 弘
小 野 峯 生
三 田 敏 秋 | 様
様
様
様 |
| (5) 来賓紹介 | 新潟県議会議員
栗島浦村長
村上市議会市民厚生常任委員長 | 片 野 猛
本 保 建 男
渡 辺 昌 | 様
様
様 |
| (6) 祝電披露 | | | |
| (7) 大会宣言 | 村上地域社会福祉大会実行委員会副会長
村上市身体障害者団体連合会長 | 太 田 猪海朗 | |
| (8) 閉会の挨拶 | 村上地域社会福祉大会実行委員会副会長
村上市民生委員児童委員協議会連合会長 | 楠 田 正 | |

第 2 部 記念講演

「人生はネタだらけ」

～なんとかなる、なるようになる、なんとでもなる～

講師 フリーアナウンサー 遠 藤 麻 理 様

平成 30 年度村上地域社会福祉大会表彰

◎村上地域社会福祉大会表彰

○ 第 2 条第 2 項第 1 号

民生委員・児童委員で(退職者を含む)9 年以上在籍し、特に功績顕著な者
中 山 森 衛 (村上市羽黒町)

○ 第 2 条第 2 項第 2 号

社会福祉施設、福祉団体等の役員に 10 年以上就任し、特に功績顕著な者
大 平 紘 一 (村上市寺町) 板 垣 昭 彦 (村上市四日市)

○ 第 2 条第 2 項第 3 号

社会福祉に対し、特に功績顕著で他の模範とするに足りる者及び団体
横 野 絹 江 (村上市山口) 室 本 功 (村上市荒屋)
平 田 琢 也 (村上市坂町) 小 野 柁 四 郎 (村上市岩船駅前)
田 島 ゆり子 (村上市山田) 本 間 芙 美 子 (村上市早川)
小 田 百 枝 (村上市府屋)

○ 第 2 条第 2 項第 3 号

長年のボランティア活動等を通じて社会福祉に対し、特に功績顕著で他の模範とするに
足りる者及び団体

村上市健民少年団 (村上市田端町)
開き読みグループたんぽぽ (村上市堀片)
にいがた岩船農業協同組合村上支店 (村上市田端町)
有限会社酒田屋 (村上市安良町)
荒川地区ゲートボール連盟 (村上市坂町)

◎ 村上地域老人クラブ連合会顕彰

○ 第 3 条第 1 号

各地区協議会又は村上地域老人クラブ連合会の役職員を 10 年以上在任し、功績のあつた者(功労者)及び各地区協議会並びに村上地域老人クラブ連合会の役職員で顕著な功績により、地区協議会長が推薦した者(特別功労者)

近 祐 二 (関川村若山) 渡 辺 サ ノ (村上市大津)
遠 山 孝 明 (村上市金屋) 須 貝 慶 夫 (村上市大津)
大 矢 佐 平 (村上市南大平) 南 波 康 二 (村上市学校町)
高 橋 一 郎 (村上市庄内町) 内 山 政 一 (村上市布部)
佐 藤 雅 道 (村上市新屋) 大 滝 卯 一 郎 (村上市松岡)
前 田 義 隆 (栗島浦村)

◎ 村上市身体障害者団体連合会表彰

○ 第 2 条第 1 号

会の役職員として 10 年以上在任し、特に功労顕著な者
中 条 久 治 (村上市久保多町) 谷 口 源 二 (村上市緑町三丁目)
高 橋 信 也 (村上市布部)

《 オープニングアトラクション 》

獅子踊り

坂町獅子踊り実行委員会 様

坂町獅子踊りは、五穀豊穰、無病息災を祈願して、毎年8月24日（宵宮）25日（本祭）の2日間、坂町地内の若宮八幡宮に奉納舞をしている3匹立ちの獅子踊りです。

元々は村の若連中と呼ばれる10代後半から20代の青年男子が中心となって行ってきましたが、2001年に「坂町祭礼実行委員会」を立ち上げ、踊りの伝承と祭礼の運営を行っています。

実行委員会のメンバーは50人ほどで、そのほか小学生から高校生までの子どもたちから約20人が踊りや笛、太鼓に参加しています。

《 記念講演 》

「人生はネタだらけ」

～なんとかなる、なるようになる、なんとでもなる～

講師 フリーアナウンサー ^{えん どう ま り} 遠藤麻理様



プロフィール

新潟市出身

<職務経歴>

- 平成 7年～ 8年 第8代JR弥彦駅観光駅長
- 平成 8年～10年 株式会社TeNYテレビ新潟放送網
- 平成10年～12年 燕三条エフエム放送株式会社
- 平成12年（開局）～現在 新潟県民エフエム放送株式会社 FM PORT など

【FM PORT レギュラー番組】

- ◆「モーニングゲート」月～金 朝6時50分～10時 放送
ニュース・天気・音楽などの朝の情報ワイド番組
- ◆「朝日山ライフステーション」日 夜6時30分～6時45分 放送
目標を持って生き生きと輝く人にお話を伺うインタビュー番組

- ・著書「自望自棄～わたしがこうなった88の理由～」
- 他、各種イベントやフォーラムの司会やコーディネーターなどの活動を行う

大会宣言(案)

少子高齢社会の進展・人口減少・生活困窮そして地域における社会的孤立など、社会福祉をめぐる環境は大きく変わり、高齢者や障がい者、そして次世代を担う児童・青少年をとりまく多様な課題が発生し、支援を必要とする人々が増えてきています。

当村上地域は、県北の広範な地域を抱えるとともに、超高齢社会を迎えている集落が多く存在しています。

このような状況のもと、「いきいき元気な笑顔輝く、ささえ合いのまちづくり」を実現するには、私たち一人ひとりが地域の課題を他人事（ひとごと）ではなく我が事（わがごと）として考え、一丸となって解決していく必要があります。

今こそ、制度・分野ごとの縦割りや支援する側・される側という関係を超えて、人と人、人と資源、多世代、多機関相互がつながることで『お互い様』の気持ちを広め、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりの実現に邁進することを宣言します。

平成 30 年 10 月 7 日

平成 30 年度 村上地域社会福祉大会